

通訳案内士のキャリアパスに関して

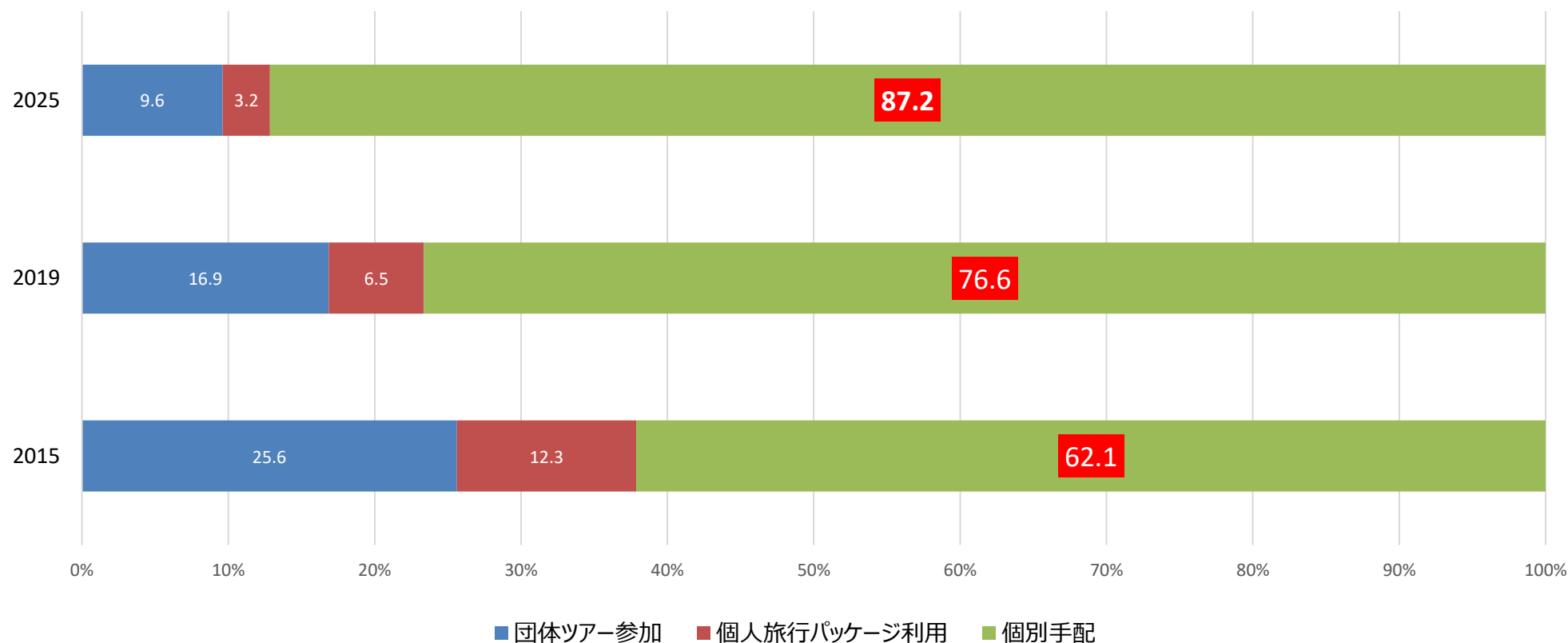
令和8年6月

観光庁 国際観光部 国際観光課

通訳案内士のキャリアパスを整理する意義について

- 近年インバウンドの増加や客層の変化とともに、旅行形態やニーズが多様化している。特に、**個別手配の旅行者はコロナ前（5年前）と比較しても割合が増加**。
- 現況を踏まえつつ、ガイドの働き方を体系的に整理した上で、それぞれの働き方に応じて求められる役割や経験の積み上げの方向性を示し、継続的な就業や人材の定着を進める必要がある。

旅行手配方法の推移



出典：インバウンド消費動向調査（旧 訪日外国人消費動向調査）を基に観光庁作成

通訳案内士の多様な働き方

○通訳案内士は観光客側の様々な旅行形態・ニーズや、それぞれの通訳案内士のキャリアビジョンに応じて、多種多様な働き方が可能である。

◆ガイドの主要要素



受托先

旅行会社が主流だが、個人手配も増加。個人手配の場合には、ガイドが施設との調整を行うケースや事前・事後の対応等もあり、より多くの能力が求められる。



人数

団体向けの場合には公平性のある対応が必要。個人向けの場合にはきめ細やかな対応等の柔軟性が求められる。



対象地域・ 日数

スルーガイドの場合には幅広い知識や進捗管理が必要。また、日数により、ガイド内容や必要となる知識・能力も様々。



消費単価

高付加価値旅行者は特に体験価値を強く求めていることから、ホスピタリティは勿論のこと、マナーや演出など様々な点に留意することがより必要。



専門性

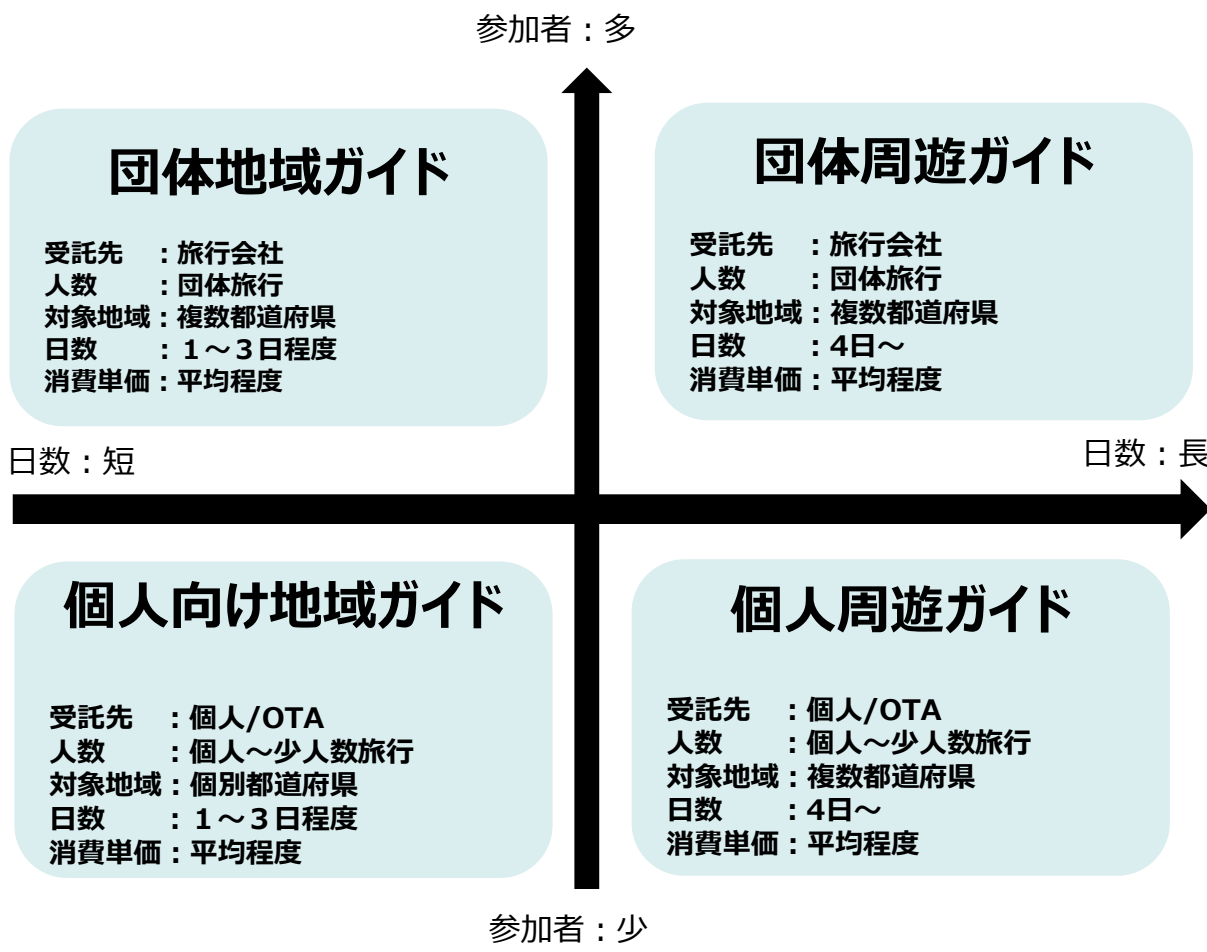
特定カテゴリーに関するガイドは深い知見が必要。クルーズを専門で扱うガイドは厳格な定時性などが求められる。

論点

この他、ガイドとして求められる能力が変わってくる要素は無いかな。

通訳案内士のキャリアパス素案

○様々な形態のガイドが考えられるところ、主に以下の通り大別できるのではないかな。



左記に加え、より専門的な内容を扱うガイド

専門ガイド

- 受託先 : 旅行会社/個人
- 人数 : 少人数
- 対象地域 : 個別都道府県
- 日数 : 1～3 日程度
- 消費単価 : 平均程度

高付加価値ガイド

- 受託先 : 旅行会社等
- 人数 : 個人
- 対象地域 : 多様
- 日数 : 多様
- 消費単価 : 高額

論点

現状の観光業界を踏まえつつ、この他に指針として示すべきガイドは何か。